

## 第106回二科展 巡回展(大阪展)



▲ 尼崎市総合文化センターと二科展看板

■ 大阪巡回展は例年の会場であった大阪市立美術館が改築のため、本年度は11月3日より11月13日まで、兵庫県の尼崎市総合文化センターで開催しました。スペースの都合により、絵画93点、彫刻4点、デザイン128点、写真129点の総出品点数354点。例年に比べかなり縮小した展示となりました。

■ 通常大阪展の絵画部では全ての巡回作品を展示していたのですが、今回は巡回作品は11作品に制約され、地元の2点入選者の作品も全て1点ずつの展示になりました。大変申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、面積、天井の高さ、エレベーターの制約を鑑み、色々とレイアウト案を練った結果、これ以上詰めて展示すると逆に作者に対し失礼にあたり、支部長はじめ私たちの苦渋の決断でした。狭さや暗さなど、決して恵まれた展示ではありませんでした。しかしながら総入場者は11063人と、昨年(14278人)と比べ減少はしましたが、会場変更、昨年より2日少ない日程、コロナ禍中での開催という厳しい状況の中、まずまずの入場者であったように思います。

■ 例年の通常開催と同様、絵画部による二科出品希望者のための「ワンポイントアドバイス」を開催。併催の「第71回こども二科展」や、デザイン部主催の「Web全国ポストカードデザイン大賞」などの展示も加わり、阪神地域の秋の文化イベントとして幅広い世代に向けてアピールいたしました。

■ 絵画部の点数の内訳は全国巡回作品11点、関西の会員大作5点、会友17点、一般60点です。

■ 会場についての厳しい意見も多々ありましたが、悪い面だけではなく4部の一体感や小品がよく見えたという良い評価もありました。次回も同じ尼崎市総合文化センターでの開催が決まっておりますが、様々な制約の中、より良い展覧会にするためにはどうすればいいのか、みんなと知恵を絞り考えて参りたいと思っております。

(絵画部会員／高畑 彰)

▼ 絵画部展示風景 ▼



大阪巡回展のチラシ▶

▲ 巡回展と同時開催された「こども二科」展示会場風景と表彰式風景 ▲

## ■ 彫刻部

出品点数 4点（会員3点、会友1点）

今年から3年間、例年の会場である大阪市立美術館地下展示場の改修工事のため使用できなくなり、会場を尼崎市総合文化センターに移しての展覧となりました。

大阪市立美術館のように、彫刻部の独立した部屋を確保する事が難しく、絵画部と空間を共有しての展示となり、会場が手狭なため巡回作品の展示は取り止めざるを得なくなり、展示点数は4点となりました。

鑑賞者の混雑は多少ありましたが、事故なく無事終了できて良かったと思っています。

今回の経験を基に、絵画・デザイン・写真各部と連携を密にし、共同で、次年度以降も展示構成がより良いものになるよう考えねばならないと思っています。

(彫刻部会員／橋本和明)

### ▼ 彫刻部展示風景 ▼



## ■ デザイン部

今回は尼崎市総合文化センター会場の展示構成上、各部協議のうえ展示数が割り出されました。従来の展示スペースや壁面とは異なり、その上に一貫した展示方法が出来ず、ライティングの問題も有って各部ともかなり苦難苦渋の展示で、様々な反省点を残すことになりました。

会場は仕切り板を多用しており、デザイン部では回廊よろしく流れるように鑑賞していただきましたが、離れて観ていただく余裕は有りませんでした。

次年については今回の反省点を踏まえ、よりよい展示が出来るよう協議を重ねられたらと考えています。

展示構成は、 ● A部門＝自由テーマポスター(B1) ● B部門＝特別テーマポスター／「ゼロカーボンアクション30」(B1) ● C部門＝自由テーマイラスト(B2) ● D部門＝フリースタイル(B2)の例年通りの4部門です。

C部門の特別テーマについては、前回に引き続き環境省後援による喫緊を要する地球環境問題に向けて、脱炭素社会をテーマに訴求ポスターを策定、応募・展示しました。

大阪展における展示数は昨年と比較して約70%で、全国巡回作品89点(一般56点、会友11点、会員22点)及び、関西地区作品39点(一般22点、会友5点、会員12点)の計128点を展示しました。

また、全国ポストカード大賞は、昨年からWebでの作品募集も行い、今回2度目の作品展示となりました。会場スペースの関係で展示を見送ることも考えましたが、丁度写真部との狭間にスペースが出来たことと、やはり展覧会を心待ちにしている方がたに対し、引き続き展示することとしました。

(二科会デザイン部関西地区事務局／田野 勝)

### ▼ デザイン部展示風景 ▼





▲ デザイン部展示風景と  
web全国ポストカードデザイン大賞の展示風景 ▶



## ■ 写真部

大阪市立美術館にて永年二科展を開催してきましたが、美術館本館の改装により3年間使用できなくなりました。絵画部の先生、サンケイ新聞事業部の皆様の御努力により兵庫県尼崎市に於いて開催できる運びとなりました。大阪会場と違い新しい会場は通年の3分の1のスペース。絵画・彫刻・デザイン・写真部合同の展示会場としては狭き会場を4部の先生方の努力でレイアウトの配置が上手くいきました。大阪、兵庫、奈良、和歌山の会員、会友、支部員、一般公募入選者の作品と、こども二科の作品も含めて飾ることができました。

大阪会場から新しい尼崎会場まで離れている為、来場者の皆様がどれだけおいで頂けるかが一番の心配事でしたが、毎日会期中は多くの来場者で賑わい、1万1千人の来場者がありホッと致しました。4部の結束と関係者の努力に敬意を表します。

来場者の御意見、感想を伺いましたところ、照明と狭い空間が残念ですが、4部の作品が素敵でしたと一応満足して頂けました。あと2年間不便ですが、良き二科展を目指して頑張りたいと思います。

(二科会写真部 大阪/水谷 勝昭)

## ▼ 写真部展示風景 ▼

